

新春特集号 地域社会と共に歩む建設業界

日々の暮らしを守る決意と誇りをもって前進を!



第 42 号

発行日 令和4年1月1日
編集発行 富士宮建設業協同組合
事業広報委員会
印刷 フジ印刷

信頼 協調 誠実

新年のご挨拶



富士宮建設業協同組合 理事長 清 哲也

明けましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、益々ご清栄にて良き新年をお迎えになったことと存じます。

また、日頃より組合事業並びに運営に多大なご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて昨年は、一昨年前に発生しました新型コロナウイルス感染症の感染者数の拡大が、10月頃よりだいぶ下火になってきたものの、まだまだ新型コロナウイルスの脅威に振り回された1年だったと思います。ワクチン接種も世界的にみても、日本は接種率が進み、少し灯りが見え始めているような気がします。一刻も早く事態が収束することを祈るばかりです。

そんな中、昨年は東京オリンピック、パラリンピックが開催され、私達に感動を与えてくれました。色々と意見がありましたが、本当に開催されて良かったなと思っています。

また、昨年は菅総理の退陣を受けて岸田内閣が誕生しました。新政権では、まずはコロナ禍の事態の収束を第一に考えた政策を打ち出していますが、我々地方建設業界の声を聴き、政策提言及び公共工事予算を組んで頂

きたいと思っています。また、昨年も自然災害が日本各地で多発しました。そんな中でも昨年7月に発生しました熱海伊豆山での土石流災害では、特に適切な盛土であったかどうかどうかが問題視されており、決して他人事ではない様に感じております。建設工事にとって盛土工事、あるいは施工時における水の処理は、工事施工にあたり、工事の成否を分ける重要なポイントとなっております。組合員の皆様におかれましては、どうか適正な盛土工事及び水の処理を十分考慮し、工事施工を進めて頂きたいと思っております。

という事で昨年は様々な事がありましたが、昨年5月に私は、6期12年理事長を務められました小松前理事長のあとを引き継ぎ、新理事長に就任いたしました。これまで、副理事長として小松理事長をお支えしてまいりましたが、現組合体制を構築するまでには幾多の紆余曲折がありました。小松前理事長に對しましては、大変長い間組合代表を務め、苦しい時もあつたと思いますが、その間のご苦労に對しまして感謝申し上げる次第であります。私としましては、先ずは、組合員が当組合に入っていて良かったと思ってもらえるよう、組合の価値をより一層高めていきたいと思っております。そのためには、富士宮市をはじめ、行政とのパートナーシップを構築することが重要だと思っております。組合は富士宮市と災害協定を結び、様々な有事における道路啓閉や災害応急復旧などを担っており、また、これらについて、応急復旧訓練等を計画的に実施していきたいと思っております。

また女性部会による特別養護老人ホームなどへの花の植替え奉仕をはじめ、社会貢献活動を展開しておりますが、この様に積極的な社会貢献活動や災害対応は、地元建設業が求められている重要な役割だと思っております。それを果たすためには、企業体力が必要であります。富士宮市には様々な要望活動を続けていくながら、共存共栄関係の構築を図っていきたく思っております。この様に、様々な事業活動を通して組合の価値をより一層高め、それがひいては組合員企業の発展に寄与するものと確信しております。

来年7月には、組合が設立してから50年という節目を迎えます。組合員皆様の意見を聞きながら、50周年をどのようにしていくのか、検討していかなければなりません。皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに本年も組合員企業の益々の発展を祈念し年頭の挨拶と致します。

新年のご挨拶



富士宮市長 須藤 秀忠

新年明けましておめでとうございます。令和4年の新春を心からお慶び申し上げます。富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、日頃から公共事業の円滑な推進をはじめ、本市の事業に多大なご協力をいただいておりますことにお礼申し上げます。また、皆様にとりまして、今年1年が健康で希望に満ちた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

近年、我が国では毎年のように豪雨災害が頻発する未曾有の事態が続いております。昨年7月の線状降水帯による豪雨は、全国各地で甚大な被害をもたらした。熱海市伊豆山において、大規模な土石流が発生し、多数の死亡者、行方不明者を出すなど大きな傷跡を残しました。この度の豪雨では、幸いにも富士宮市では大きな被害はありませんでしたが、富士宮市でいつ災害が起こるかもしれないという強い危機感と緊張感を持ち、災害に備える必要があります。市といたしましては、いざ災害が発生した際には、市民生活の安全・安心の確保が最優先であり、1日も早い公共施設等の復旧復興に向けた取り組みを進める必要があります。災害に強いまちづくりのためには、災害時に最前線で地域社会の安全・安心を担う「地域の守り手」である富士宮建設業協同組合の皆様のお力添えのおかげで、公共工事は社会の安定維持の観点から、緊急事態宣言期間中も、継続を求められる事業として位置付けられ、大変厳しい状況の中での皆様のご苦勞を拝察いたします。そのような中であつても、皆様方のお力添えのおかげで、公共工事は着実に事業を進められております。富丘交流センターや白糸会館においては、本年度4月に無事に供用開始の運びとなりました。改めてお礼申し上げます。今後も、児童館や市営万野住宅建設工事、公共施設の長寿命化事業、道路などの社会資本整備や各種公共事業を進めてまいりますのでよろしくお祈りいたします。

年頭のご挨拶



衆議院議員 深澤 陽一

新年明けましておめでとうございます。昨年も新型コロナウイルス感染症の影響で、皆様方も大変な思いをされた1年であったと思っております。今年こそコロナを収束させ、市民の皆様が前向きに日常を過ごせるよう心から祈念いたしますとともに、私自身国政の立場で役割を果たしてまいります。

特に昨年11月11日に第2次岸田内閣におきまして、厚生労働大臣政務官という大役を拝命することとなり、当面政府の立場で国政に

取り組むこととなりました。その中で私は主に、労働行政、福祉行政、年金を担当することとなり、国民の皆様が大変関心が高く、注目されている分野だと感じております。そして後藤茂之厚生労働大臣からは、新しい資本主義と全世代型社会保障の充実に向けて取り組んで欲しい旨、ご指示をいただきました。経済を成長させ、その果実を分配することで多くの皆様に豊かさを感じていただける新しい資本主義と、全ての世代が安心できる全世代型社会保障は岸田政権の政策の柱であり、その実現に向けて取り組まさせていただきますことは大変意義深いことであり、また大きな責任も感じております。そのような取り組みを進め、富士宮市民の皆様はもとより、国民の命と生活を守るため、そしてこ

年頭のごあいさつ

富士宮市議会議長 小松 快造



新年あけましておめでとう
ございます。

富士宮建設業協同組合の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃より組合員各位の結束と協力のもと、社会基盤の整備や社会貢献活動などを通じて地域社会の発展と安心安全なまちづくりのために、大きな役割を果たしていただいておりますことに厚く感謝いたします。

一方、7月には九州地方をはじめ東海、中国地方を中心に梅雨前線の影響から記録的な大雨となり、日本各地で河川の氾濫や堤防の決壊、土砂災害など甚大な被害が発生しました。なかでも静岡県熱海市の伊豆山地区で発生した大規模な土砂災害は、多くの住宅等を飲み込み、多数の尊い人命が犠牲になるとともに、貴重な財産が失われるなど、身近な地域で起きた災害として、記憶に残るものとなりました。

なお、富士宮市内においても土砂災害が生じたものの幸いにも大事には至らず大きな被害にはなりませんでしたが、近年頻発する激甚な災害は、気候変動の影響が少なからず顕在化しているものと考えられ、同様な災害はいつどこで起きるかわからない状況にあります。

そのような災害の報道を見るたびに、あらためて私たちの暮らしを守り支えているインフラとその整備の重要性を強く実感しているところであります。

現在、富士宮市は、国が進める国民の生命と財産を守りぬくための防災・減災の考え方に基づいた国土強靭化を図るため、災害に強い都市整備を積極的に進め、活気にあふれる安心安全なまちづくりに取り組んでいます。

こうした中、道路や河川をはじめとする公共事業と、それを担う地元を熟知した建設業に従事する皆様のご存在は大変大きく、頼もしく感じており地域社会にとって、なくてはならない不可欠な存在です。

市議会といたしましては、貴組合からのご意見や要望等も踏まえ、市当局と連携し、より効果的な事業が、これからはしっかりと実施できるように努力をさせていただきます。

昨年7月の豪雨により発生した熱海市伊豆山地区の土石流災害は死者26名、行方不明者1名という多くの人命を奪い、家屋やインフラに多大な被害を生じさせました。発災の経緯は、不法に盛り土された廃棄物混じりの土砂が長雨により流出したということ、人災とも、未必の故意による殺人とも言われる事態になっております。同様の災害は2度と発生させてはなりません。強い決意を持って条例改正の議論を進めてまいります。

従来の静岡県土採取等規制条例は、土採取の規制に主眼が置かれ、盛り土に対する規制はそもそも副次的なものに過ぎませんでした。規制は「届出」となっており、罰則も罰金刑のみで懲役刑は設定されて居らず、

年頭のごあいさつ

国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所長 藤 平 大



新年明けましておめでとう
ございます。

富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、健やかに新しい年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より国土交通行政の推進にあたり、格別のご理解・ご協力を賜っておりまして、あらためまして厚くお礼を申し上げます。

昨年は熱海市において7月3日に発生した土石流災害は死者26名行方不明者1名(令和3年11月時点)をはじめとして、全国各地において土砂災害により多く

の方々地域に甚大な被害を及ぼしたところであります。被害に遭われた皆様は心よりお見舞いを申し上げます。

富士砂防事務所では、熱海市達初川流域において一刻も早い地域の復興に資するため、昼夜問わず、流出した深床堆積土砂の撤去や応急砂防施設の建設を進めて参りました。現在は新設砂防堰堤の早期完成を目指しているところであります。事業実施に当たっては、大沢川源頭部において実施してきたヘリコプターによる資機材等の搬送、無人化施工バックホウによる施工などのノウハウを活用し、さらに富士山噴火に備えて備蓄しているコンクリートブロックを一時転用して熱海の応急砂防堰堤の建設を進めております。これら富士宮地先において実施してきた施工ノウハウと備蓄資機材を活用することにより、早

期復興に資する取り組みが可能となりました。

他方、富士山麓では、昨年3月、降雨による雪解けに起因するスラッシュ雪崩が各所で発生いたしました。とりわけ大沢川で発生したスラッシュ雪崩は下流では土石流となり、一雨により発生した土石流としては、遊砂地完成後最大規模となる約47万立方メートルの土砂を大沢遊砂地において捕捉しました。加えて8月には総雨量1500ミリに及ぶ降雨により再び大沢川で複数回に及ぶ土石流が発生し、同じく約23万立方メートルの土砂を捕捉しました。これらにより1年間に流出した大沢源頭部から発生した土砂量は、過去に大きな災害を引き起こした昭和47年に匹敵するほどの規模となりました。しかしながら、その後の遊砂地整備と平成30年度より進めてきた強靭化

プロシエクトによる除石の効果もあり、幸い下流域での大きな被害は発生しませんでした。

これらの成果は、すべて貴組合の皆様のご尽力のおかげです。誠にありがとうございます。ここに改めてお礼を申し上げます。

本年もまた豪雨による災害の発生などが懸念されます。とりわけ、富士山南西麓においては、大沢遊砂地に代表される施設の機能回復(除石等)が急務です。富士砂防事務所では、貴組合の協力を得ながら、大沢川を含む南西野浜の砂防事業を強力に推進し、地域の安全度の向上を著実に実施して参る所存です。貴組合の皆様におかれましては、なお一層のご支援をお願い申し上げます。

年頭のご挨拶

静岡県富士土木事務所長 青木 直己



新年明けましておめでとう
ございます。

富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、新年を健やかに迎えられたことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より、本県の社会資本整備の推進をはじめ、災害発生時の復旧活動など、地域の安全で安心な暮らしの実現に向けて多大なご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会経済や県民生活に甚大な影響が続く

中、皆様には、感染防止と予防対策を図りながら仕事を継続していただき、深く敬意を表します。

今後、さらなる感染症拡大の防止と社会経済活動の早期回復を図り、持続可能な社会づくりを進めるためには、多様なリソースの備えと、デジタル化への対応が求められています。

近年の気候変動等の影響により、自然災害は激甚化・頻発化しています。昨年7月は、熱海市で発生した土石流により、多くの生命と財産が失われる甚大な被害となりました。富士土木事務所管内では、富士市内で多数の人家等が浸水の被害を受けるとともに、富士山では複数の大規模な土石流が発生しました。

社会資本の整備は、未来への投資です。富士土木事務所では、地域の皆様と協働しながら、多

様な課題に対応すべく、道路、河川、砂防、都市計画等の各事業に取り組みとともに、整備された公共施設を最大限に活用するために適切な維持管理を進めてまいります。富士宮市内においても、継続事業に加え、設計を進めている都市計画道路田中青木線(貴船工区)や、国道469号(精進川工区)など、新たな事業も積極的に進めてまいります。

こうした事業や取組の推進に向けては、皆様のご協力が必要不可欠です。お互いに建設産業に携わる者として、地域への誇りと愛着、そして、行動につながる様、今後も引き続き、地域の社会インフラ整備に格別なご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、貴組合のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

結ぶに、貴組合のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

結ぶに、貴組合のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

結ぶに、貴組合のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

結ぶに、貴組合のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

結ぶに、貴組合のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

結ぶに、貴組合のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

結ぶに、貴組合のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

結ぶに、貴組合のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

結ぶに、貴組合のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

静岡県富士農林事務所長 杉山厚吉



新年明けましておめでとう

ごさいます。富士宮建設業協同組合の皆様には、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、平素から本県の農林行政に対しましては、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返れば、

- 「1月16、17日」 「一月大入試センター試験」の後継となる第一回「一月大入試共通テスト」実施。
「3月11日」 「東日本大震災」から10

新年のごあいさつ

富士宮市都市整備部長 黒川和洋



新年明けましておめでとう

ごさいます。富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことと心よりお喜び申し上げます。また平素より富士宮市発注の公共事業や、災害発生時の迅速な対応等多大なご協力を賜り深く感謝申し上げます。

一昨年から続くコロナ禍での自粛ムードで景気が停滞する中、何とか「2020東京オリンピック、パラリンピック」も無事開催され、建設業

居山頭首工の改修を昨年に行き続き行います。また、大倉川農地防災ダムの管理・運用も

「7月3日」 大雨に見舞われた熱海市伊豆山地区で大規模な土石流が発生。(死者・行方不明者計27名)

「7月23日、8月8日」 2020東京オリンピック、ほぼ無観客で実施。

「8月24日、9月5日」 2020東京パラリンピック、原則、全会場無観客で実施。

「10月4日」 菅義偉内閣が総辞職。自由民主党総裁の岸田文雄氏が第100代内閣総理大臣に選ばれ、岸田内閣が発足。

などのできごとがあり、新型コロナウイルス感染症の影響が、まだまだ社会生活に大

界におかれましては首都圏の一極集中も緩和されてくると思われま。令和元年の品確法の改正から、発注者の責務として、発注平準化、週休2日制工事、設計変更ガイドラインの整備等が求められ、本市に於いても建設業界の担い手確保のため、近年では労務費の上昇も見受けられると共に、静岡県内で土木工学科の新設があるなど明るい話題もあり業界の活性化も期待されます。さて、近年の地球温暖化による影響が、台風の大規模化や、豪雨による水害が多発し、各地に多大な被害を引き起こしております。

7月3日の豪雨により、熱海市では伊豆山地区逢初川起

点部より土石流が発生し多くの被害者を出す甚大な災害が発生しました。本市に於いても小規模な法面崩落が生じましたが、災害協定を結ぶ組合員様の早急な対応により早期の復旧ができました。8月15日・18日の豪雨では、大沢川での23立方メートルの土石流発生のほか、北山、村山地区において道路への土砂流出が多数あり、風倒木、側溝逸水等多数の報告がありました。幸い市民の生命や財産を脅かすほどの被害はありませんでしたが、改めてこれら風水土砂災害に対応できる公共施設の必要性を感じさせられました。

私も都市整備部は、市民の皆様のご生活に直結した社会基盤の整備を進めていくと

新年のごあいさつ

富士宮市水道部長 渡辺文英



新年明けましておめでとう

ごさいます。富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。また、平素から富士宮市の上水道事業にご理解とご協力を賜り、あらためて感謝申し上げます。

さて、コロナ禍の中、私たちは約2年もの間、制約や我慢の多い日々を過ごしてまいりました。国民へのワクチン接種が進むとともに、抗体カクテル療法や治療薬の開発なども進み、徐々に新型コロナウイルス

にも、国や県のご助力をいただきながら、須藤市長を会長とする富士山治水期成同盟会の推進、国道469号精進川工区、岳南北部地区幹線道路や都市計画道路田中青木線の道路事業の早期整備、公共施設の長寿命化事業、浅間大社周辺の整備事業、今後始まる主要路線の無電柱化事業等課題は多々ありますが、富士宮市をより良い街とするため一つ一つ確実に推進してまいります。

そのために貴組合様のご支援ご協力が不可欠なため、今後ともより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに富士宮建設業協同組合の益々のご発展と、皆様のご繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

日本は少子化による生産人口の減少とそれによる税収の

新年のごあいさつ

総務・金融委員会 委員長 河原崎利光



新年明けましておめでとう

ごさいます。組合員並びに関係各位の皆様におかれましては、日頃より当組合の運営においてご理解を賜り誠にありがとうございますとさせていただきます。

一昨年から続くコロナ禍が、ようやくワクチン接種により鎮静化に向かい、自粛が緩やかに解除され、経済活動が活発に動き始めようとして

初めて国政選挙となる参議院補欠選挙が行われ、静岡県においては衆院選の前哨戦として臨んだ戦いとなりましたが、結果は敗北し、衆院選への影響を懸念する声がありました。しかし、事前の予測に反し、自民党単独で絶対安定多数を確保しました。政権公約として、①新型コロナウイルス感染症への対策をはじめ、②新しい資本主義③地方活性化④農林水産業⑤経済安全保障⑥外交・安全保障⑦教育⑧憲法改正の8つの柱でいどみ、信頼ある政治を取り戻すとしていきます。国民の信頼を裏切ることがないように期待します。

減少、さらに高齢化によって増加の一途をたどる社会保障費などにより財源不足が問題視される中、出生率の低下対策が喫緊の課題であり、公約を実現するうえでも大きなウエイトを占めているように思えます。財源不足からインフラ整備費が削られたり、住民サービスの低下が危惧され、不足補填のために増税に舵を切るといっては、景気低迷の負のスパイラルにはまるのは必然ではないでしょうか。平成27年12月富士宮市人口ビジョンによると、2060年には人口が8万6千人まで減少する試算の中、11万人を維持し人口構造の若返りを目指す「富士宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定

されましたが、策定時平成26年人口自然動態(出生・死亡に伴う人口の動き)は前年比▲255人であり、令和元年度には▲657に増え直近の令和2年には、転入出を含む社会動態を含めると大台の1,000人超えの前年比▲1,018人となり、予定より早く人口減少が進んでいるのではないのでしょうか。建設業界の技術者不足がさらに厳しくなり、行政サービスの低下が懸念されます。

富士宮市では「任んでよし」「訪れてよし」「出会ってよし」「結ばれてよし」「生んでよし」「育ててよし」「学んでよし」「働いてよし」よしよしづくしの、まちづくりを合言葉に積極的に転入人口を増加させる施策に取り組まれています。言い換えれば「ひと」「もの」「かね」ではな

新年のごあいさつ



いでしようか。そのためにインフラ整備は非常に重要な位置を占めていると思います。富士山本宮浅間大社を中心に富士山麓に広がる風光明媚な朝霧高原・白糸の滝・アウト

ドアの聖地・焼きそば以外にも地酒や酪農畜産製品ニジマス等もあり、首都圏からほどよい距離という高条件を兼ねそろえている地域だと思えます。コロナ禍により働き方が

変わり、首都圏からの移住促進のチャンスではないでしょうか。非常に財政の厳しい状況ではありますが、引き続き私共組合員の優れた技術力を生かす

場を提供していただければ、組合員ともども社会に貢献していきたいと思えます。組合員の皆様及び関係各位の、ご健勝とご多幸をお祈りいたします。

土木・舗装委員会 委員長 拓進建設 佐野 裕康

新年明けましておめでとうございます。昨年、若輩ながら土木・舗装委員会委員長を拝命し、早くも半年余を経過しようとしています。委員会の皆様、組合員各社の皆様には大変お世話になりました。

2020年より猛威を振る

新年寄稿文

雨漏り

建築・安全委員会 委員長 宮鉄建設 遠藤 秋芳



近年の大雨は、異常気象のせいでしょうか。昭和の子供の頃と比べて、桁外れに雨量が多い。

先日も施工から連絡が入り、「雨漏りがするので現場を見て欲しい」とのこと。現場に急行した。室内の天井から雨水が垂れているのは確認できたが、天井の上には梁があり、屋根下地があり、屋根材

となるので、雨水進入は室内天井の真上の屋根材か？それとも離れたところから梁材を伝

わって、そこに落ちてくるのか？雨漏り修繕の厄介なことは、出てくるところは目視で確認できるが、入口がわかりにくい。特に屋根材でスレート材は要注意である。

新築後40〜50年経過したスレート屋根はまだ市内に存在している。その頃のシート材はアスベストを含んでいるが、昭和の時代、岳南地域の工場、倉庫はスレート材で盛んに建築された。「錆が生じなくて、ある程度遮熱性があり、比較的安価で長持ちする」との理由である。

今、経年劣化でともに足をのせるとつぶれてしまうので、作業時は足場板をのせて雨漏り周辺を調査、それらしきところをシーリング作業

次に雨が降る日待つしかない。たいてい1回では止まらないことが多いため範囲を広げて、再度シーリング作業を行う。そしてまた雨の日を待つ。2回で止まれば上出来である。普段の雨天時には漏らないが、強風が吹いた暴風雨時に漏る。これは一筋縄ではないからである。

古い屋根材の重ね継手のフックボルトが緩んでいるので、そこから雨水が入る可能性がある。晴れた日改めて試験的に行き作業を続ける。最終的には「既設屋根を残し、屋根全体をカバー工法で改修」を提案する。工事費もかなり掛り直ぐには結論はでないが、これが最適な方法である。工場、倉庫は屋根まで高さ

6m以上はある。昇降設備のない屋根は、高所作業車でのり、屋根材を踏み抜かないように歩く、雨漏り周辺の屋根に近づくと、気は抜けない。高齢者が多い建設職人は、パランスを崩し、事故につながる。屋根周辺を見渡すと軒樋、谷樋には長年の屋根の土が流れ込んで汚泥としてたまっている。場所によっては雑草がはえて、それで雨水の流れ量が限られている。軒樋への落し口に、ゴミが堆積している。またたたくまに樋が雨水で一杯になり、時には室内に落ちてくる。日頃の清掃は大事だが、場所が場所だけに、なかなか普段から手が回らない。清掃作業が安易な作業に

HARDWARE
KANEKO HARDWARE STORE
富士宮の建築資材と工具のプロショップ
和泉屋カネコー
静岡県富士宮市北町17-8 TEL(0544)24-6136 FAX(0544)23-2901

新年のごあいさつ

事業・広報委員会 担当理事 三尾 祐一

減と、3分の2まで減少している。

逆シフトが最下段の宮城県は、平成23年の東日本大震災以後、業者数が減るところが連続して増加しており、令和3年はピーク時と同等と成るまでに回復している。

この表は対前年比減少率の都道府県順位を並べたものだが、静岡県は平成26年の28位から27年に全国2位、翌28年と29年は不名誉ながら減少率全国1位である。令和3年も全国10位と7年連続して減少率トップクラス。

全国平均では業者数の減少は止まり、増加に転じているのだが、近年、静岡県では加速度的に減少してきた。なぜ、静岡県だけが特殊な傾向を示しているのか皆さんの判断に任せますが、過去、愛知県と同じ様な傾向で有ったのが平成26年を境に二分しており、こちらへんがピントに成るかもしれない。

グラフを見る限り減少傾向は止まりつつある様に見えるが、今年から3年間は業者数が減少する年回りとなるので、しばらく静岡県では減少傾向は止まらないだろう。

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。本来で有れば「新年のごあいさつ」はお役ご免のはずですが、統計資料に基づいた分析が恒例と成っており、また今年も投稿させていただきます。

建設業許可業者数(以下単に業者数)は、建設業許可期間が平成6年12月に3年から5年間に延長された関係で、許可期間5年の途中で廃業しても許可抹消手続きをしない事が多い。3年減少し2年増加する周期で変化しており、1番多かった平成12年3月末以降、業者数は減り続けて来たが平成30年を底として3年連続増加となった。

表1-1の説明
全国では、表右端1サイクル5年の「1期間内変化率」の推移を見れば解るが、前回の5年間の変化率▲7.85%と比べると、▲0.09%減で、ほとんど横ばい。本年度は過去の傾向から本来ならば減少サイクルに入る年となるはずだが一転して0.31%増加しており、明らかに減少から増加傾向に変わってきている。業者数は平成11年度末60万社の最大数から、令和3年3月末に47万4千社で、最大数からは21.4%減。

表1-2の説明
このグラフは、都道府県別業者数ピーク時対比の減少率のデータを図表化したものだが、まずは静岡県に注目してもらいたい。平成20年を境に全国平均より急角度で業者数が増加し、平成22年にはグラフの1番下、つまりピーク時対比減少率が全国47位、言い方を換えれば全国一建設業者が減少してない県と成り、その傾向は平成25年まで続いたのだが、平成26年で潮目が変わった。その後、加速度的に減少率は増え続け、ついに昨年には全国平均を上回ってしまった。

災害が多発している近年、防災や復旧の担い手として、また地域の次世代の建設業を担っていく為にも、組合員が一致団結し、生き残っていくしかない。

新年のごあいさつ

建設業許可業者数(以下単に業者数)は、建設業許可期間が平成6年12月に3年から5年間に延長された関係で、許可期間5年の途中で廃業しても許可抹消手続きをしない事が多い。3年減少し2年増加する周期で変化しており、1番多かった平成12年3月末以降、業者数は減り続けて来たが平成30年を底として3年連続増加となった。

表1-1の説明
全国では、表右端1サイクル5年の「1期間内変化率」の推移を見れば解るが、前回の5年間の変化率▲7.85%と比べると、▲0.09%減で、ほとんど横ばい。本年度は過去の傾向から本来ならば減少サイクルに入る年となるはずだが一転して0.31%増加しており、明らかに減少から増加傾向に変わってきている。業者数は平成11年度末60万社の最大数から、令和3年3月末に47万4千社で、最大数からは21.4%減。

表1-2の説明
このグラフは、都道府県別業者数ピーク時対比の減少率のデータを図表化したものだが、まずは静岡県に注目してもらいたい。平成20年を境に全国平均より急角度で業者数が増加し、平成22年にはグラフの1番下、つまりピーク時対比減少率が全国47位、言い方を換えれば全国一建設業者が減少してない県と成り、その傾向は平成25年まで続いたのだが、平成26年で潮目が変わった。その後、加速度的に減少率は増え続け、ついに昨年には全国平均を上回ってしまった。

災害が多発している近年、防災や復旧の担い手として、また地域の次世代の建設業を担っていく為にも、組合員が一致団結し、生き残っていくしかない。

この表は対前年比減少率の都道府県順位を並べたものだが、静岡県は平成26年の28位から27年に全国2位、翌28年と29年は不名誉ながら減少率全国1位である。令和3年も全国10位と7年連続して減少率トップクラス。

全国平均では業者数の減少は止まり、増加に転じているのだが、近年、静岡県では加速度的に減少してきた。なぜ、静岡県だけが特殊な傾向を示しているのか皆さんの判断に任せますが、過去、愛知県と同じ様な傾向で有ったのが平成26年を境に二分しており、こちらへんがピントに成るかもしれない。

グラフを見る限り減少傾向は止まりつつある様に見えるが、今年から3年間は業者数が減少する年回りとなるので、しばらく静岡県では減少傾向は止まらないだろう。

日本工業規格表示認証工場
イーユー生コン株式会社
代表取締役 加藤 雄二
〒418-0112 静岡県富士宮市北山字貫原508番地
電話・出荷(0544)58-0707
事務所 (0544) 58-6482・事務所 (0544) 58-0709
試験室 (0544) 58-0708・FAX (0544) 58-0632

県民の生命・財産を石材で守る
株式会社 後藤 代表 TEL(0544)66-0165 FAX(0544)67-0147
誠意を品質に託して
TEL 0560079
後藤砕石販売株式会社
砕石部 TEL(0544)66-0501 FAX(0544)67-0147
試験室 TEL(0544)57-0353 FAX(0544)29-3765
生コン部 TEL(0544)67-0510 FAX(0544)67-0560

(図-1) 建設業許可業者数の推移 (毎年3月末) ※平成12年が業者数最大値



全国	静岡県
1,479	-63

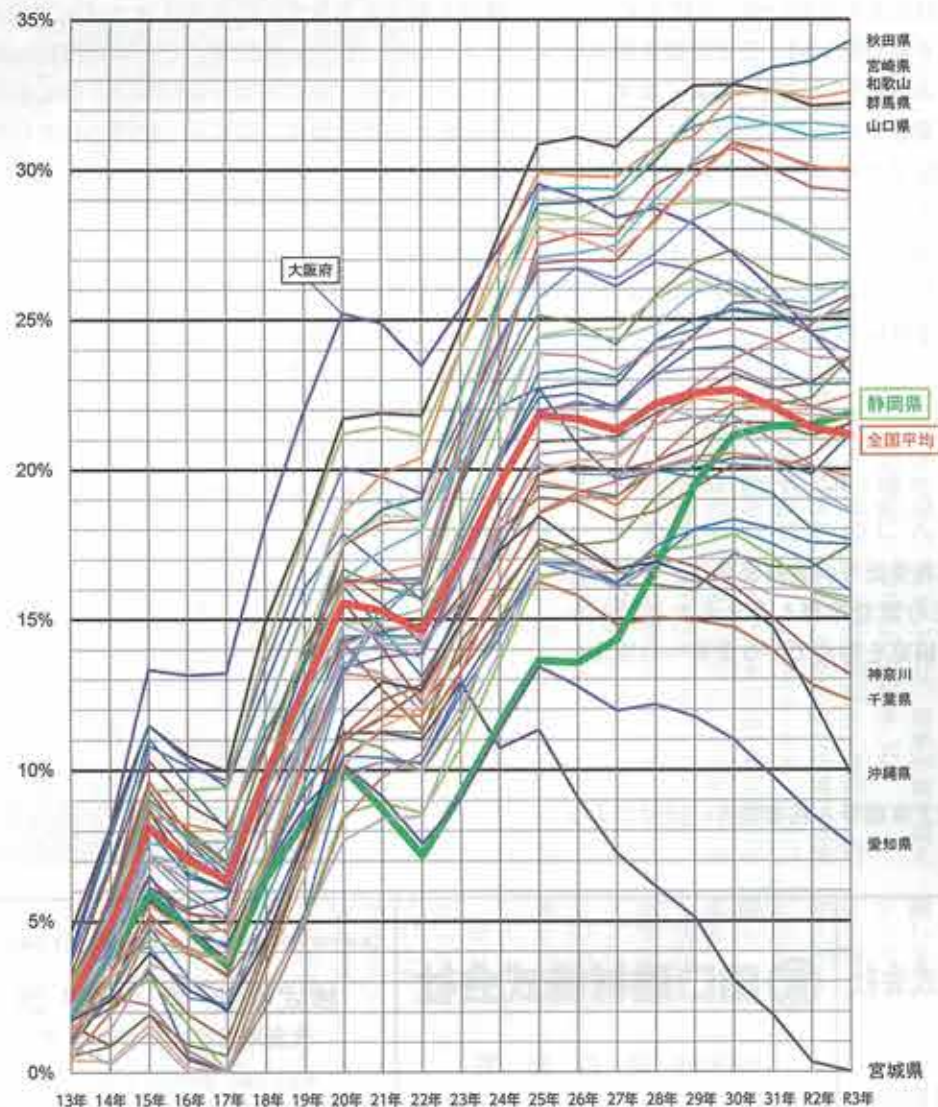
(表-1) 業者数最大時からの推移

年度	業者数	前年比	期間内		期間内	
			平均値	最大比	変化率	変化率
平成12年	600,980					
平成13年	585,959	-2.50%		-2.50%		
平成14年	571,388	-2.49%		-4.92%		
平成15年	552,210	-3.36%	-2.78%	-8.12%		
平成16年	558,857	1.20%	0.94%	-7.01%	1.89%	-6.38%
平成17年	562,661	0.68%		-9.77%		
平成18年	542,264	-3.63%		-12.76%		
平成19年	524,273	-3.32%		-15.55%		
平成20年	507,528	-3.19%	-3.38%	-14.61%	-9.80%	
平成21年	509,174	0.32%		-17.00%		
平成22年	513,196	0.79%	0.56%	-19.52%	1.12%	-8.79%
平成23年	498,806	-2.80%		-21.81%		
平成24年	483,639	-3.04%		-21.69%		
平成25年	469,900	-2.84%	-2.90%	-21.31%	-8.44%	
平成26年	470,639	0.16%		-22.19%		
平成27年	472,921	0.48%	0.32%	-22.55%	0.64%	-7.85%
平成28年	467,635	-1.12%		-22.64%		
平成29年	465,454	-0.47%		-22.08%		
平成30年	464,889	-0.12%	-0.57%	-21.39%	-1.70%	
平成31年	468,311	0.74%		-21.14%		
令和2年	472,473	0.89%	0.81%		1.63%	-0.09%
令和3年	473,952	0.31%	0.31%		0.31%	0.31%
	1,479	対前年度増減				



年度	業者数	前年比	期間内		期間内	
			平均値	最大比	変化率	変化率
平成12年	17,477					
平成13年	17,140	-1.93%		-1.93%		
平成14年	16,809	-1.93%		-3.62%		
平成15年	16,439	-2.20%	-2.02%	-5.94%		
平成16年	16,653	1.30%		-4.71%		
平成17年	16,860	1.24%	1.27%	-3.53%	2.56%	-3.53%
平成18年	16,350	-3.02%		-6.45%		
平成19年	16,018	-2.03%		-8.35%		
平成20年	15,716	-1.89%	-2.31%	-10.08%		
平成21年	15,952	1.50%		-8.73%		
平成22年	16,222	1.69%	1.60%	-7.18%	3.22%	-3.78%
平成23年	15,865	-2.20%		-9.22%		
平成24年	15,463	-2.53%		-11.52%		
平成25年	15,095	-2.38%	-2.37%	-13.63%		
平成26年	15,106	0.07%		-13.57%		
平成27年	14,972	-0.89%	-0.41%	-14.33%	-0.81%	-7.71%
平成28年	14,552	-2.81%		-16.74%		
平成29年	14,070	-3.31%		-19.49%		
平成30年	13,782	-2.05%	-2.72%	-21.14%		
平成31年	13,730	-0.42%		-21.44%		
令和2年	13,721	-0.07%	-1.24%	-21.49%	-0.44%	-8.36%
令和3年	13,658	-0.46%	-0.46%	-21.85%	-0.46%	-0.46%
	-63	対前年度増減				

(図-2) 都道府県別 業者数ピーク時対比の減少率の推移



(表-2) 対前年比 減少率順位

順位	ピーク対比減少率 令和3年3月末	対前年比 減少率順位							
		26年	27年	28年	29年	30年	31年	2年	3年
1	秋田県 34.28%	12	16	8	21	25	18	11	11
2	宮崎県 33.06%	22	7	31	23	12	17	5	4
3	和歌山 32.60%	44	39	46	38	8	13	9	7
4	群馬県 32.20%	47	47	47	47	47	47	45	39
5	山口県 31.43%	21	5	13	2	5	2	4	5
6	奈良県 31.24%	31	35	39	19	13	14	2	2
7	徳島県 30.04%	46	46	40	35	24	16	22	6
8	長野県 29.93%	8	21	38	24	14	12	20	14
9	京都府 29.28%	34	42	4	8	20	31	19	17
10	岡山県 27.36%	7	27	11	14	33	25	30	23
11	鳥取県 27.12%	30	23	28	39	36	34	44	36
12	栃木県 26.24%	41	45	41	37	39	40	41	40
13	佐賀県 26.20%	16	31	21	17	30	36	31	27
14	富山県 25.79%	38	38	35	42	43	44	40	44
15	島根県 25.69%	11	6	10	13	1	1	3	1
16	北海道 25.34%	13	11	15	9	9	7	18	12
17	高知県 25.18%	17	24	16	27	15	15	26	21
18	石川県 24.76%	3	10	18	10	16	10	14	13
19	兵庫県 23.88%	26	36	34	15	26	21	21	22
20	青森県 23.78%	19	13	9	5	4	8	25	30
21	新潟県 23.73%	18	18	33	33	22	28	43	35
22	愛媛県 23.66%	28	2	1	1	2	3	8	10
23	大阪府 23.19%	43	41	44	41	44	45	42	45
24	東京都 22.86%	35	34	17	28	29	23	16	25
25	福井県 22.44%	37	25	19	25	34	33	28	37
26	静岡県 21.85%	4	17	3	22	17	24	35	31
27	長崎県 21.70%	42	43	37	46	46	46	46	46
28	広島県 21.65%	23	37	29	40	42	41	38	41
29	山形県 21.59%	24	15	7	18	21	20	23	19
30	茨城県 21.51%	32	12	20	26	3	4	17	15
31	福島県 21.17%	1	29	27	7	18	19	33	34
32	三重県 19.75%	2	3	2	12	11	5	1	3
33	福岡県 19.38%	33	28	26	36	35	32	32	33
34	熊本県 18.65%	5	26	12	34	31	35	34	32
35	香川県 18.55%	15	4	5	6	7	6	7	16
36	埼玉県 17.64%	40	33	23	3	6	9	27	26
37	山梨県 17.50%	39	14	43	30	37	27	39	38
38	岩手県 17.47%	29	32	32	29	23	22	29	29
39	滋賀県 15.92%	10	9	24	20	41	39	24	20
40	鹿児島 15.70%	20	20	25	31	32	38	36	42
41	岐阜県 15.54%	14	22	36	11	19	26	12	9
42	大分県 15.09%	6	8	22	16	38	29	13	18
43	神奈川 13.14%	36	30	14	45	40	42	37	43
44	千葉県 12.29%	9	19	45	43	28	30	10	28
45	沖縄県 9.86%	25	1	6	4	10	11	6	8
46	愛知県 7.51%	27	40	30	32	27	37	15	24
47	宮城県 0.00%								
	全国平均 21.14%								

市への要望書提出

富士宮市長 須藤秀忠様
富士宮市議会議長 小松快造様

要望書

日頃より、富士宮市政発展のため多大なるご尽力をなされ、心より敬意を表します。また、富士宮建設業協同組合に対しましては、ご指導、ご鞭撻を賜るとともに、公共事業関係予算の確保につきましても、平素よりご尽力いただいていることに、心より厚くお礼申し上げます。

さて国は、近年の気候変動の影響により気象災害が激甚化・頻発化し、南海トラフ地震等の大規模地震は切迫しています。また、高度成長期以降に集中的に整備されたインフラが一斉に老朽化するなか、適切な対応をしなければ経費負担の増大のみならず、社会経済システムが機能不全に陥るおそれがあります。このような危機に打ち勝ち国民の生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持するため、防災・減災、国土強靱化の取組の加速化・深化を図る必要があるとしており、令和3年度から令和7年度までの5か年で概ね15兆円規模の加速化対策を講ずるとしています。

また、昨年から世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルスが社会や経済に様々な影響を与えるなか、年内には国内のワクチン接種も希望者全員が完了する見通しとなり、ポスト・コロナの時代を見据えた新たな国土づくりへの取り組みなど、人々が安全・安心に暮らせる社会づくりの中心的役割を果たす産業として、建設業には大きな期待が寄せられています。

しかしながら、一方では担い手の確保・育成や生産性の向上、働き方改革など、地域建設業にとって克服すべき課題は山積しており、これらの解決に向けては、引き続き積極的な取り組みが求められています。

このような状況の中、我々建設業協同組合は「地域密着型の社会に奉仕する建設業」を目指し、地域インフラの安定的な整備・維持管理、防災・減災を柱として活動する「地域の守り手」として、また地域の安全・安心を確保する「公的な任務の担い手」として課せられた社会的使命を今後も継続して果たしていかなければなりません。そのためには、地域建設業の健全で安定した経営基盤の構築が必要であります。将来の担い手の確保・育成という最大の課題を抱えることで、前途多難であると言わざるを得ません。これらのことを踏まえたうえで、若者が将来を託すことが出来る「魅力ある建設業」として持続的な発展ができるよう、公共事業の安定的・継続的な確保と、

9月13日(月)に組合理事長、副理事長は、市役所を訪ね、災害や災害防止対応も踏まえ小規模修繕業務委託を災害協定締結業者への発注について、公共工事の品質確保の観点から土木一式工事業者の格付けの見直し、予定価格の適正化及び図面と工事費内訳書の数量の相違は設計変更対象にする3項目についての要望書を、須藤秀忠富士宮市長、小松快造市議会議長(提出時副議長)に提出いたしました。清理事長は冒頭、新型コロナウイルスの感染拡大は変異ウイルスの影響もあり非常に厳しい状況で、世界経済にも甚大な影響を及ぼしており、地域経済においても例外ではなく、感染症の一刻も早い収束を願うとともに、基本的な感染予防対策である「新しい生活様式」を徹底し、市内建設業者の経営に影響のないように迅速かつ柔軟な配慮をお願いいたしました。

続いて理事長は、私達地方の建設業界は、依然として首都圏との地域間格差や企業間格差が拡大し、地域の社会資本整備や維持管理、災害対応を担う地域建設業は、依然として厳しい経営環境下にあります。近年頻発に発生している自然災害などへの防災・減災対策や働き方改革を推進させるには、まずは地域建設業の安定した事業経営を確立することが必須であるとの考えを伝え、市のご理解と協力をお願いしました。

10月15日(金)、市役所契約管理課長、契約係長、工事検査課長、検査係長が建設業会館に来館し、要望について富士宮市として、適正な競争による適正価格での受注及び適正な履行の確保等を十分に検討したうえで、その後意見交換をおこないました。



より一層の予算の拡大をお願い申し上げます。

これからも我々組合員一同、日々研鑽を積みながら、組合訓であります「信頼・協調・誠実」を合言葉に建設産業をアピールし、災害時には行政と共に迅速に対応できる、強固な体制づくりを目指してまいります。そのためにも、組合員の育成強化に更なるお力添えを賜りたく、下記事項についてご要望いたしますと共に、貴職の益々のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

記

要望事項1

小規模修繕業務委託等の業務委託は、災害対応や災害防止対応の緊急業務も考えられることから、貴市と災害協定を結んでいる業者への発注をお願いしたい。

要望事項2

富士宮市建設工事競争入札参加者の格付による

建設工事ランク表において、土木一式工事業者Aランク41社、Bランク22社、Cランク43社となっておりますが、公共工事の品質確保の観点から技術者数、施工実績等を踏まえて格付の見直しをお願いしたい。

要望事項3

公共工事の品質確保の促進に関する法律において、発注者の責務として予定価格を適正に定めることとされていますが、設計図面に基づく適正な数量が工事費内訳書等の積算資料に反映されないで落札予定金額を算定し発注された場合、図面と工事費内訳書等の数量の相違は設計変更していただきたい。

令和3年9月13日

富士宮建設業協同組合
理事長 清 哲也

日本工業規格認証取得工場
コンクリート用砕石及び砕砂

静甲工業(株)

本社/〒419-0315 静岡県富士宮市長買699-1
TEL(0544)65-1000
南都工場/〒409-2303 山梨県南巨摩郡南都町十島2450
TEL(0556)67-3201

太陽建機レンタル株式会社

富士宮支店

静岡県富士宮市西小泉町23-1
TEL:0544-26-5011
FAX:0544-28-0102

田口建材株式会社

代表取締役 田口 敏 寛

事務所 静岡県富士宮市村山269-1
TEL(0544)23-6262~3
FAX(0544)27-1020

「未来を切り拓く技術」とともに「安全」と「安心」をお届けする

株式会社 富士 宇部

代表取締役 宮 地 隆 次

〒421-3304 静岡県富士市木島258番地
[富士工場]TEL.0545-56-0030 Fax.0545-56-2801
[工 事 部]TEL.0545-56-0032 Fax.0545-56-2800
[本 社]TEL.0545-56-0033 Fax.0545-56-2800

女性部会活動

女性部会会長 榎大石 清 幸江

皆様におかれましては、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

この度、長きにわたり女性部会の発展に尽くされて来られました。小松みさを前会長から会長職を引き継ぐ事となりました。これからの先輩方の思いと伝統を大切に、女性部会の発展に誠心誠意尽力したいと思っております。宜しくお願ひ申し上げます。

12月14日は組合員の皆様から寄せ頂いたタオル350枚を富士宮市に寄贈致しました。平成5年からの女性部会の継続事業ですが、長年にわたる功績が評価され同日、市長より感謝状を頂戴致しました。これからも、絶やすことなく続けて参りたいと思っております。

コロナ禍と言ふ厳しい状況の中、要わずに皆様のご理解ご協力を賜り無事に事業が出来ました事、心よりお礼を申し上げます。

女性部会員一人一人が、人のお役に立ちたい、喜んで頂きたいとの思いで行っており、また、その思いが一人でも多くの方のお心に届きます事を願ひ、また本年も一致団結して一歩前に歩みを進めたいと思っております。

☆ボランティア活動

せせらぎ広場・花植え

令和3年11月24日(水) 今回で4回目になりましたが、富士山世界遺産センター北東にあります「せせらぎ広場」の花壇に花の植替えを行いました。

また11月24日せせらぎ広場の花壇に季節の花を植えました。富士山、雪だるま、雪の結晶など冬の季節のモチーフを花で表現しました。

12月6日には特別養護老人ホーム「しらいと」の玄関前とロータリーに季節の花植え



定するため、決まり次第報告する旨の回答をしました。観光課から再び連絡があり、業者が11月第2週あたりに現在の花壇を解体し、更地にするとのお話があったため、第3週あたりに植えていただければという事で決まりました。11月5日に役員会を開催し、花植えは11月22日(月)に決まり、すぐに市へ報告しました。市からも業者へ連絡しますが組合からも連絡を入れて下さいとのことでしたので、すぐに造園会社へ電話をしたところ、快く引き受けてくださいました。ようやく準備開始です。

当初予定していた11月22日は、前日降り続いた雨が止み曇りとなりましたが、これまで降った雨により土の状態が良くないので、24日に延期となりました。当日は、11月下旬らしくなく暖かな日となりました。これぞまさに小春日和です。花壇の土も柔らかくて、移植して無しも手作業で通り「せせらぎ広場」花壇への花植えについて、了解をいただきました。組合からも担当の造園会社へと連絡をしたところ、植える10日前に連絡をくれれば花壇をならしてくださるというお話をいただきましたので、11月頃を希望したい旨を伝え、花の様子を見ながら調整していくことになりました。

9月に入り、花壇の様子を見に行きましたが、猛暑に耐え残暑と戦い続けている花の様子が見て取れました。マリゴールドを筆頭に日々草や千日紅などが植えられており、けっしてベストな状態ではありませんでした。10月になって観光課より連絡をいただき、造園会社から花植えの時期の照会があったため、具体的な日を教えてほしいとのことでした。今後開催する役員会で具体的な日時などを決

さがあり、上底(北端)2メートル・下底(南端)5メートルの長細い台形で独特の形状をしています。そのため花植えのプランを考へるには、悩みの種となっていました。

まず、花壇を4分割し、中央に富士山の形を土留め用の策で作っていきましました。これで、富士山全体の大きさが決まり、上部には昨年同様防虫シートを埋め込み、雪の割合を決めていきます。それから紫のパンジー360株を植えていきます。

1番右のゾーンには、雪の結晶を2か所作成しました。葉牡丹を中心に8方向に白のパンジーとインターロッキングを置いていき、8本からなる雪の結晶を作りました。さらに、富士山の左隣には、雪だるまを作りました。白のパンジーを中心1株から次は5株・10株・15株・20株と増やして丸形を大きくしていきます。頭部分は20株まで広げ合計51株を使用し、胴体はさらに1周広げて25株まで増やし合計76株を使用しました。丸くするのはなかなか難しく、皆さんご苦労されました。頭にはバケツの帽子をかぶせ、手には柄杓を持つているように土に差込み完成です。

1番左のゾーンには、花壇の中に人が入って来られるような花輪を作りました。中心には黄色とピンクの土留めを使い桜に見立てて作成設置し、その横には真っ赤に塗られた可愛いベンチを2ヶ所設置しました。周囲にはデージーやストック・パンジーなど色とりどりの花を植え、素敵に仕上がりました。

今回は、当初の22日から24日に変更となりましたが、13日にも参加協力をいただきました。参加者の皆様は、花を花壇に一旦並べ、全体のバランスの確認を行います。そして一気に植える作業に取り掛かり、あっといふ間に仕上げていきます。和気あいあいと花を植えながらも、阿吽の呼吸で作業を進めていきます。

植えた後の空ポットを片付ける方やじょうろを持って何回も神田川まで下りて水を汲んでくださる方、花壇前に土が散乱してしまっているのを、その土を掃いて下さる方など皆さん各自で気が付いたことをドンドン行動されました。20代から60代と年代も幅広いですが、年の域を超えて一緒に汗を流し一つの作業を行う様子は、とてもアットホームな感じでした。お忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。また、職員の方のご参加を調整していただいた各組合員の社長様、心より感謝を申し上げます。

富士宮分校へ依頼し、年2回学校の生徒さんが植え替え作業を行っている事業です。女性部会では、毎回、支援学校の生徒さんが授業の一環として行う花植え作業のお手伝いを行っております。

富士宮分校へ依頼し、年2回学校の生徒さんが植え替え作業を行っている事業です。女性部会では、毎回、支援学校の生徒さんが授業の一環として行う花植え作業のお手伝いを行っております。

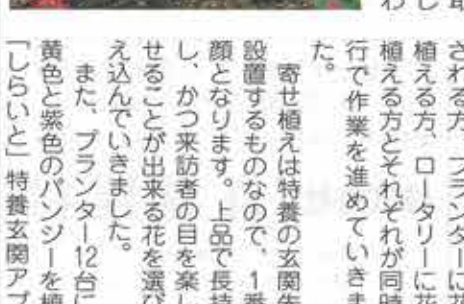
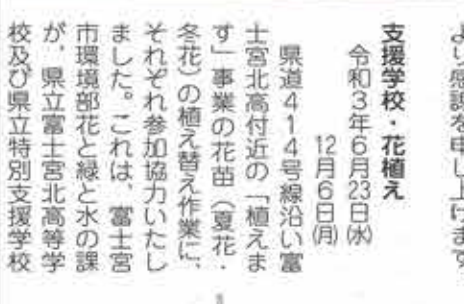
夏花の植替えは、会員12人の皆様の参加協力を得て、ベゴニア・ポトチユラカ、そして、シニア(百日草)の3種類780本を植えました。曇天模様の際々しい中、額に汗を浮かべながら生徒さん12人と共に笑顔で作業を進めていきました。今回の生徒さんは、花植えが初めてだったようなので、植える際の注意事項とかをレクチャーし、花の配色や配置を考えながら一緒に仕上げていきました。マスク着用での作業は、体に負担がかかりますので熱中症が心配されましたが、無事作業を終えることが出来ました。

冬花の植替えも夏同様に行われ、予定された花壇11カ所へ、ピオラ216本・パンジー720本の苗を植え替えました。12月というお忙しい時期ではありますが、会員13人の参加をいただき、心より感謝申し上げます。ご協力ありがとうございました。

花壇に色とりどりの花が植えられている様子で、沿道を通る皆さんやドライバーの方々の癒しになればと思っております。生徒さんの一生懸命に作業に取り組み姿にはいつも感心致しますが、その心が花にも伝わります。

寄せ植えは特養の玄関先に設置するもので、1番の顔となります。上品で長持ちし、かつ来訪者の目を惹きつけることが出来る花を選び植え込んでいきました。

また、プランター12台には黄色と紫色のパンジーを植え「しらいと」特養玄関アプロ





1チ左右に5台ずつ、ディスプレイを左右に1台ずつを

設置しました。施設中央のロータリーですが、中心には木を植えてある

円形の花壇があり、周囲に長椅子が3基置かれ、それを囲むように左右に花壇が設置してあります。それぞれコンクリートブロックで仕切られて

いるので、中心の円形花壇のブロックに沿って黄色のパンジーを植えていき、中ほどには赤色のシクラメンをポイン

トとして植え、ソーラーライトを設置しました。左右の花壇も内側のブロック沿いに黄色・赤色・紫色のパンジーを

つてきました富士宮市へタオル等を寄贈してきた活動に対し、富士宮市長より感謝状を受領いたしました。組合からは清女性部会会長・小松相談

役・塩川幹事・鈴木幹事・遠藤幹事の役員が、市側からは須藤市長をはじめ、宇佐美巧保健福祉部長ほかが出席をし、感謝状贈呈ののち、意見交換を行いました。

平成5年から始めたこの活動は、今回で29回目となり、組合員の皆様のご協力の賜物です。日ごろお世話になって

おります市民の皆様へ、感謝状を送りたいという気持ちから始めました。創設して5年

間は雑巾を手縫いし、当初の2年間は、直接特別養護老人ホームを訪問してお贈りして



私も団体は、昭和52年に「婦人部会」として発足しましたが、婦人という表現が女性

性蔑視に備するとかで平成12年11月「女性部会」に名称変更してあります。また「婦人部会」という名称を使用している

時の事です。市に対して、福祉施設においてどんなものが必要としているかを尋ね

たことがありました。その時には「車」とか「ロッカー」などいくつかお聞きした中

で、とても高額なもので、こちらで寄贈できそうなものはありませんでした。施設のお

代用にもなり、古くなつてからは雑巾として使用できません。特養施設でもとても貴重

するとのことでしたので、お贈り続けて現在に至っております。以前はお年賀で頂いた物をお持ち下さる組合員の

方々が多かったのですが、ここ10数年は、お年賀が減っている現状もあるため、わざわざ皆様個々で購入した物をお持ち下さいます。

【女性部会】は、ボランティア活動として花植えを「せらぎ広場」花壇・特別養護老人ホーム・支援学校横の花壇(夏・冬)と年4回行っています。これまでも女性性の立場として組合活動を支え、今後

Table with 4 columns: No, 時期, 寄贈先, 寄贈物名 数量. It lists various donations from平成5年 to令和3年, including towels, blankets, and cash donations.

富士宮建廃協同組合. 建設資材中間処分(県)認可第2221002450号. 再生砕石販売. 静岡県富士宮市山宮961-10

MIND CREATION-こころをカタチに. 前田道路株式会社 富士合材工場. 〒417-0846 静岡県富士市今井434-1

丸工砂利販売(株). 建設、土木資材、CO・ASガラ・土工事請負. 〒418-0036 静岡県富士宮市沼久保398番地

株式会社 丸喜建材. 重機土木工事一式・各種骨材販売. 解体工事・建設廃材収集運搬. 静岡県(股)1-63-第23160号 (株)第9201045463号

優良工事受賞者

静岡県、富士宮市等の公共団体より、工事の品質・出来形・安全管理、創意工夫及び地域貢献度等に対し、成績優秀で、他の模範となる工事として2021年に表彰された皆様を紹介します。

静岡県交通基盤部 地域貢献表彰

令和元年度内房山口B急傾斜地崩壊対策
(一般一大規模)【防災・安全交付金】工事(擁壁工)

拓進建設(株)

代表取締役……佐野 裕康
現場代理人……清水 孝
主任技術者……清水 孝



富士土木事務所 優良工事表彰

令和元年度(主)清水富士宮線「暮らしを守る道」
緊急対策T(災害防除)工事(法面工)

地成建設(株)

代表取締役……望月 敏雄
現場代理人……望月 一美
主任技術者……望月 一美



富士土木事務所 優良工事表彰

令和元年度(一)富士富士宮線防災・
安全交付金(交通安全)工事(路肩拡幅工その3)

(株)小松建設

代表取締役……小松 實
現場代理人……望月 正次
主任技術者……望月 正次

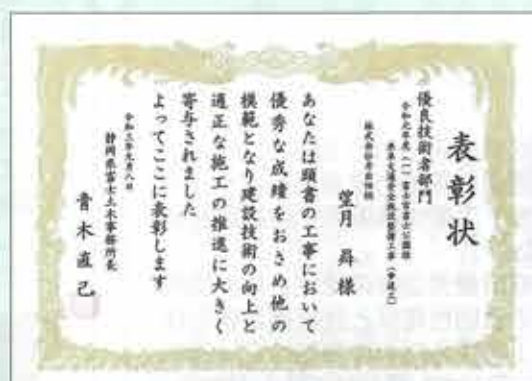


富士土木事務所 優良技術者表彰

令和元年度(一)富士宮富士公園線
県単交通安全施設整備工事(歩道工)

(株)井出恒組

代表取締役……増田 隆俊
主任技術者……望月 昇

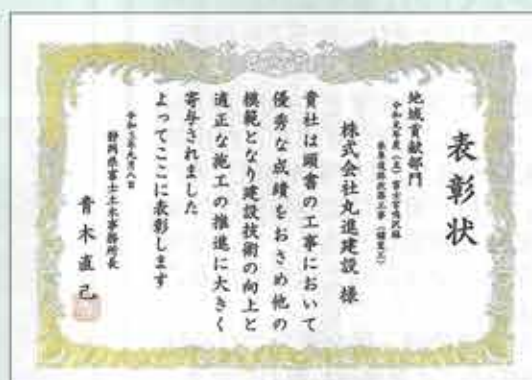


富士土木事務所 地域貢献表彰

令和元年度(主)富士宮鳴沢線
県単道路改築工事(舗装工)

(株)丸進建設

代表取締役……塩川 進
現場代理人……角田 道彦
主任技術者……角田 道彦

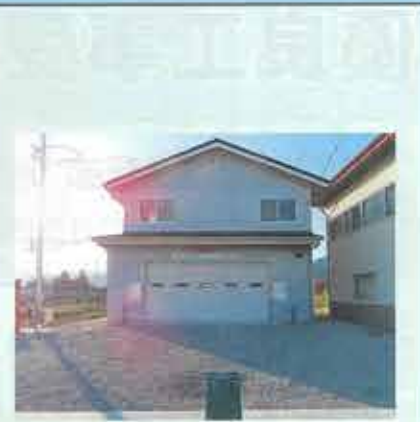


富士宮市建設工事表彰 優秀賞

令和2年度富士宮市消防団第18分団詰所建設工事

(株)川俣組

代表取締役……佐野 孝
現場代理人……北澤孝太郎
主任技術者……川平 貴之

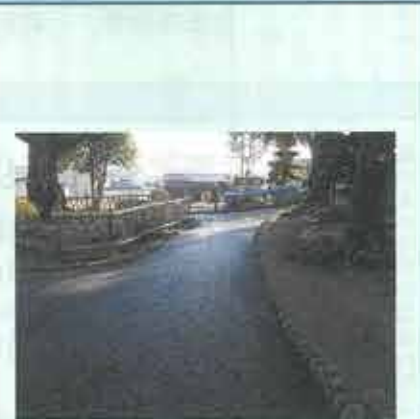


富士宮市建設工事表彰 優良賞

令和2年度城山公園園路舗装工事

(株)坪井土建

代表取締役……坪井多恵子
現場代理人……佐野 伸次
主任技術者……佐野 伸次



富士宮市建設工事表彰 優良賞

令和2年度一般市道小泉8号線側溝整備工事

(株)旭建設

代表取締役……石川 哲也
現場代理人……望月 哲也
主任技術者……望月 哲也



国土交通省中部地方整備局 工事成績優秀企業認定

(株)小松建設 代表取締役 小松 寛



当組合員である(株)小松建設さんは、国土交通省中部地方整備局長より、令和3年度 工事成績優秀企業認定を受けました。

工事成績優秀企業の認定とは、同成績評定の透明性確保と民間事業者の技術力向上を図るために実施しているものです。ランキングした244社から、過去2か年に完成した国土交通省中部地方整備局発注の土木工事（港湾空港部関係を除く）の工事成績評定の平均点が、80点以上となった57社が認定を受けました。

この認定をうけますと、ヘルメット等にシールとして掲示することが出来るようになります。（左写真参照）それにより、一目で優秀な成績を受けた事業者であると認識されることで、従業員のモチベーション向上につながることでしょう。

今後も引き続き、組合員の中から認定者が現れることを期待しております。



組合員による地域貢献活動紹介

当組合員の明徳建設(株)（河西幸一代表取締役社長）によって令和3年5月22日に大中里の清水川約1kmの区間で河川清掃活動が行われました。

この河川清掃活動は、同社が清水川護岸工事に携わった13年前から毎年実施しており、今年度は同社役員・社員29人が参加して河川環境美化に汗を流しました。河西代表取締役社長は「清掃を始めた当初に比べ、川もきれいになってきた。継続は力と実感している。今後も微力だが地域の役に立っていかれたら」とコメントしました。



富士宮建設業協同組合の 1年の活動

令和3年



第57回清掃運動



令和3年4月18日(日) 21日(水)

毎年「環境美化の日」に実施されていた清掃運動が、昨年度はコロナ感染症拡大防止のため中止となりましたが、今年度は4月18日、21日まで4日間市内全域で展開されました。重点日である4月18日(日)の清掃運動には、市内12区3万1,660世帯から3万4,656人の市民が参加し、地域の河川や道路の清掃に汗を流しました。



26・15トン(28台)、路線清掃による可燃物・不燃物、不法投棄ゴミ0・84トン(12台)の搬出を行いました。組合員の皆様にはご協力をいただき、大変ありがとうございました。

機密文書処理リサイクルシステムの活用

平成30年7月1日にコアレックス信栄株式会社さんと「廃棄機密書類の委託業務契約」を締結し、12社の組合員さんがリサイクルシステムの活用をスタートさせ、4年目の令和3年は4月、7月、12月の3回活用し、合計175箱(2,200kg)の機密文書の処理を行いました。



適切な処理とリサイクル活動を推進してまいります。

道路愛護

令和3年8月10日(火)

8月は、道路愛護月間となっております。毎年この行事に参加しています。昨年同様以外神東公園付近の1級市道押出長穴線・栗倉外神線沿いの枝の伐採、路肩の草刈り、清掃等を市管理課、本組合員、近隣事業所、外神



東及び外神区民の方が参加し、総勢21人により実施いたしました。本組合員からは11人が参加し、草刈りや街路樹等の剪定に汗を流しました。参加された組合員の皆様、本当に暑い中をご苦労様でした。

道路のパトロール業務

令和2年度の富士宮市道路点検維持補修業務の実績は、路面の穴埋め1,156箇所、路面の剥離箇所補修3,198箇所、側溝の清掃56箇所、側溝蓋の騒音防止等179枚、草刈除草・街路樹剪定56路線、カーブ

ミラー修整41枚となっております。これからも、市民の皆様への大切な道路を安心・安全のために日々パトロールし、迅速な対応に努めてまいります。皆様からの情報もお待ちしています。

感謝状の受領

前小松理事長は、理事長に就任してから富士宮市景観審議会委員を7期にわたって務め、昨年5月で退任しましたが、それに対して、富士宮市長より感謝状を受領いたしました。

富士宮市景観審議会は、富士宮市の良好な景観の形成に必要な事項について、市長の諮問に応じ調査、審議するために設置されたもので、委員17人で組織されています。任期中には富士宮市の富士山景観条例や屋外広告物条例などを制定、同市景観



計画・景観形成行動計画などの策定に携わりました。須藤市長は「長年にわたる、世界遺産富士山のあるまちにふさわしい景観づくりの根幹をなす重要な審議、答申をいただきました。委員は退任されましたが、引き続き変わらぬご支援、建築のプロとしてのアドバイスなどもお願いいたします」と感謝のことばを述べ、小松前理事長は、「審議会員になって様々な勉強をさせていただいた。こちらこそ感謝しています」と述べました。

ゴルフコンペ開催

令和3年5月11日(火)

組合員の親睦を深めるため毎年恒例のゴルフコンペを、小田急西富士ゴルフ倶楽部において8人の参加により開催いたしました。結果は次の通りです。



優勝：組合事務局 望月明彦
準優勝：俣大石組 清 哲也

ホームページ
富士宮建設業協同組合
https://fujinomiy-kensetsu.com/
E-mail:miya-ken.s48@leaf.ocn.ne.jp
皆様からのアクセスをお待ちしております
〒418-0005 富士宮市遠原470-5
TEL.0544-27-5526

組合員を募集しています!!
入会希望の方は上記迄。

重機土木工事一式・骨材販売 解体工事一式

株式会社 丸 芳

代表取締役 佐野 裕 亮

〒418-0047 静岡県富士宮市青木1186番地の1
TEL (0544) 27-6048 内
FAX (0544) 27-8068

人と環境にやさしいものづくり

各種アスファルト合材製造・販売 常温合材
アスファルト乳剤 アスファルト廃材中間処理

株式会社 リサイクル芝川

〒419-0315 静岡県富士宮市長貫551-1
TEL (0544) 65-0850 FAX (0544) 65-1882

watanabe
株式会社 渡邊

県知事許可(般-28)第21303号
代表取締役 渡邊 智 司

〒416-0022 静岡県富士宮市小泉1659-16
TEL (0544) 24-5123 FAX (0544) 23-3715
https://www.pro-watanabe.co.jp

ポウリング大会

毎年8月に実施している「ポウリング大会」は、昨年引続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。

市防災訓練

令和3年9月1日(水)富士宮市総合防災訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。

女性技術者による座談会の開催

静岡県富士土木事務所は、2月26日に富士建設業協会において、富士地区で建設や建設関連産業に従事する女性技術者による座談会を開催しました。



富士地区のドローン操縦を含めた建設産業に従事する女性と交流する機会とするため、当日は、富士土木事務所から女性技術職員2人や静岡女性パイロットによるICT活用促進企業組合(ドローンパイロット女子)の職員3人、㈱フジヤマ富士営業所の職員1人、富士建設業協会からは㈱石井組のグエン・ティ・ティエンさん、当組合員である㈱小松建設の小松奈央さんなど8人が参加しました。座談会では、まずそれぞれが自己紹介を行い、次に参加者仕事の事例紹介として①ドローン活用促進組合よりドローン女性パイロットについて②㈱小松建設小松奈央さんより女性が従事する建設現場の現状について、ICT活用の現状について、ICT施工(マシンガイダンス技術の活用)を含め発表を行いました。その後は自由に意見交換し、交流を深めました。この様な交流の場を設けてくださいました富士土木事務所長様に感謝いたしますとともに、今後更にも引き続き企画して頂けたらと願っております。



秋の褒章

黄綬褒章受章

昨秋の褒章で、当組合員の光建業(株)佐野義光代表取締役が黄綬褒章を受章いたしました。静岡県内では受章者が15人あり、内訳は業務に精励した人に贈られる黄綬褒章が5人、科学技術・学術分野の紫綬褒章が1人、公共の職務に尽力した人に贈られる藍綬褒章が9人でした。

20歳で宮大工の世界に入りましたが、疑問を解決したいという思いは強く、それが修行ということだったのだからと振り返ります。それから15年の修行を終え、独立されましたが、自身が手掛けた神社仏閣は50棟を超え、伝統的な社寺建築は数百年先を見据えてつくり上げてきたそうです。

また、後進育成にも大変尽力をされており、「私の流儀は伝わっている」と確かめられました。事務所内には依頼主からの感謝状が並んでおり、この仕事一筋で続けて来られたのは皆さんのおかげと話されました。先に書いた通り、昨年「現代の名工」として厚生労働大臣より表彰状を受賞されています。これは、全国で150人、県内では8人が表彰されています。優れた技術を持ち、現役で活躍している方のみが表彰されるものです。



令和3年5月21日の総会において下記の通り役員の変更がありました。

富士宮建設業協同組合役員および組合員名

【役員】	相談役 相談員 理事 副理事長 監事	相談員 森下孝一 清 哲也 河原崎利光 堀川 進 三尾祐一 小松 實 坪井孝文 遠藤秋芳 山本 篤 渡邊定賢 加瀬澤 理 佐野裕康	理事 相談員 理事 副理事長 監事	相談員 河原崎建設 小松 實 富士宮市北山一九〇八 齊藤建設 齊藤宗一 富士宮市中里一四六九 佐野建設 佐野哲也 富士宮市上条一五四〇一 鈴木建設 鈴木統太 富士宮市小泉三六二一六 伊藤建設 伊藤重治 富士宮市貴船町五二一七 佐野建設 佐野裕康 富士宮市下郷子一〇四〇一 地成建設 望月敏雄 富士宮市長原六七五二 坪井建設 坪井孝文 富士宮市野中町七四一 坪井多恵子 富士宮市青木二二八五一 光建業(株) 佐野義光 富士宮市下条〇
【組合員】	相談員 理事 副理事長 監事	相談員 石川 亨 増田隆俊 永田正二 清 哲也 明徳建設 河西幸一 富士宮市大里二九九一四 森下孝一 富士宮市小泉三九〇一 山本 篤 渡邊建設 渡邊定賢 富士宮市原九四二	相談員 理事 副理事長 監事	相談員 石川 亨 増田隆俊 永田正二 清 哲也 明徳建設 河西幸一 富士宮市大里二九九一四 森下孝一 富士宮市小泉三九〇一 山本 篤 渡邊建設 渡邊定賢 富士宮市原九四二

事業・広報委員会委員
増田隆俊

昨年にも新型コロナウイルスの蔓延により日常の行動が抑制された毎日が続き、生活の変化に対する対応が日々生ずるなか、組合員皆様におかれましては、臥薪嘗胆の思いで過ごされたのではないのでしょうか。今年には昨年の諸事を一掃し前進・発展するよう今年になりますよう、祈念申し上げます。また、広報「建設ふじのみや」の発行にあたり、ご多忙の中、寄稿いただき、また、協業業者様また組合員様には多岐に渡るご協力に厚くお礼申し上げます。近年SDG.Sを合言葉に各分野において人間社会における持続可能な開発目標を掲げ進み始めています。各地に甚大な被害をもたらす異常気象を要因とした激しい大雨はまさに地球環境が変動している現れであり、これからの自然に対する建設のあり方を考えさせられます。現在私は子育てに奮闘中です。子供の顔を見る度、10年後、20年後、30年後・・・人が災害に怯えた毎日を送ることのないよう願うばかりです。この数年で新型コロナウイルスの対策、異常気象への対策、経済や働き方改革への対応などあげれば切りがたい程、事変に伴う課題が山積みとなっています。建設業におきましては災害時の対応、環境対策、働き方に対する改革や作業に携わる人命の尊重等、継続的に社会にむけた変革を期待されています。この様な中、富士宮建設業協同組合の一員として地域社会に密着し、あらゆるニーズに応えるため、組合員皆様と共に地域の発展に寄与できるよう努力していきたいと思っております。本年も宜しくお願い致します。